

訳者あとがき

今回の『2021年版ベトナム統計年鑑』が対象とした2021年は、引き続き新型コロナウイルス（Covid-19）の変異株の感染流行が猛威を振るい、その影響が社会経済状況に色濃く現れた年であった。マクロ的には、上記パンデミックは経済の深刻な停滞を招き、今回のベトナム統計年鑑で示されている対前年比経済成長率2.56%と極めて低調な数字に表れている。これは近年の7%代にまで至る高い経済成長率を考えると、大きなブレーキになったと考えられる。

他方、2021年はベトナム共産党第13回全国代表大会で定められた2021～2025年の社会経済開発目標（2021～2025年5ヵ年計画）の1年目ということもあり、社会経済動向が注目された年でもある。衆知の通りこの全国代表大会では、南北統一50周年を迎える2025年までに近代産業を擁する国として低位中所得国を脱すること、ベトナム共産党設立100周年となる2030年に上位中所得国になること、そして建国100周年を迎える2045年に高所得国になることが目標として定められた。ベトナム共産党が、こうした中長期目標を新型コロナウイルスのパンデミックの影響が強まる中で掲げた背景には、ベトナムの成長に対する並々ならぬ自信と決意があったといえるかもしれない。実際、Covid-19の感染拡大が落ち着いてきた2022年には対前年比の経済成長率が8.02%もの急速な成長を示しており*、ベトナム経済の底力を発揮している。近年、長期的な視点から経済の成長とともに経済の縮小にも着目し、縮小の大きさや頻度、そしてそこからの回復（resilience）を重視する見方が注目されている†。例え成長率が著しく高くとも、縮小の程度が大きい、ないし頻度が多いといったことになれば、傾向的に安定した成長が達成できないからである。その意味では、今後のベトナムの安定的成長を占う意味でも2022年の大きな経済の「回復」の前にあった2021年の経済の「縮小」の背景を深く理解することは重要であり、ゆえに『2021年版ベトナム統計年鑑』に掲載されている2021年のベトナムの社会経済状況に関する様々な統計情報は極めて重要であるといえよう。

ところで、ベトナムの統計年鑑はテーマごとに統計表を分けて章別に掲載しており、各章の冒頭には、当該章で取り上げるテーマの統計指標や用語に関する解説が付されている。この部分の改訂はあまり頻繁には為されないのであるが、2021年版の

* <https://www.gso.gov.vn/en/data-and-statistics/2022/12/infographic-social-economic-situation-4th-quarter-and-2022/> (2023年7月31日参照)

† Broadberry, Stephen & Wallis, John, 2018. "Growing, Shrinking and Long Run Economic Performance: Historical Perspectives on Economic Development," CEI Working Paper Series 2018-14, Center for Economic Institutions, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University.

統計年鑑では他の章に比べ、農林漁業の章の統計指標や用語に関する解説に比較的多くの変更が加えられた。とりわけ変更内容として目立ったのは農業の多年生作物栽培に関する統計指標の解説に係るものである。Covid-19 のパンデミック下において、ベトナムでは都市部で職を離れた人々が農村部に戻るケースが多発した。未だにベトナムの人口の 6 割が居住する農村部では、高齢化が進み医療サービスの供与にも不安があったところに、こうした帰還移動による Covid-19 の感染拡大があったため、当時は農村部が抱える問題が浮き彫りとなった。わけても Covid-19 による帰還移動や経済的損失の影響は、雇用や医療へのアクセスの問題と絡み深刻な農村部の所得格差問題を示すに至った。

こうして農村部の所得格差の解消と所得向上は衆知の課題となり、それまで進められていた「新農村建設」という農村部の所得向上プログラムを国家目標として一層進めることにつながり、脱農化や米以外の高付加価値作物（有機農法含む）の作付が進むなど、農村部に新たな現象がみられるようになった。『2021 年版ベトナム統計年鑑』の農林漁業の統計解説において、多年生作物に係る統計解説に注力されたのは、米に代わり果樹栽培が農村部で増加した現状があろう（特にザボン作付けの躍進は注目される）。またメコンデルタでは Covid-19 の感染拡大の中でも干ばつや塩水浸入などによる自然災害の甚大な影響をうけた。それゆれ耐塩性の作物栽培や養殖への切り替えなども近年見られている。こうした外的ショックへのベトナムの農村部の人々の適応が農林漁業部門の統計の変化として、『2021 年版ベトナム統計年鑑』に表れているといえよう。

和訳にあたっては、用語の選択等、細心の注意を払っているが、統計年鑑の越語、英語原文において明らかな誤植と判断され、読者の混乱を招く可能性がある箇所、もしくは統計概念や表の解釈に注意が必要な箇所には、適宜「訳注」を加えている。この統計年鑑の邦訳が、ベトナムに関心をもつ多くの方々の一助になることを願ってやまない。

最後に日本語版の出版において、ビスタ・ピーエスの酒井洋昌氏には出版に至るまで大変お世話になった。ここに謝意を表したい。

2023 年 8 月

グエン ティ タン トゥイ

高橋 塁